

自由民主党

信頼の小金井

SHINRAI NO KOGANEI

発行：小金井市議会 自由民主党・信頼の小金井 小金井市本町6-6-3

会派：議会内で活動を共にしようとする議員のグループ
遠藤ゆりこ／河野麻美／五十嵐京子／吹春やすたか



【防災への備え】、【東小金井駅周辺地域の活性化】、【長期的かつ広域的な視点】から 都道「小金井3・4・11号線」の整備推進を求める

防災への備えは喫緊の課題

近年、大雨や台風による大規模な災害が発生したり、震度4以上の地震が多発していたりと、首都直下型地震等自然災害への備えは急ぐ必要があります。東大通りから東八道路へ抜ける小金井3・4・11号線は、優先整備路線とされており、災害時の救助活動、物資の運搬、避難路としての活用等必要な道路です。

本年5月に市が策定した「小金井市地域防災計画」には、以下の内容が明文化されており、防災会議の会長として計画を策定した市長には、これらの改善を図る責務があります。

- ▶市内には狭隘道路が多く、災害時の活動の困難さが高い地域がある。
- ▶道路は、都市活動を支える根幹的都市施設であり、震災時には避難、救援、消防活動等に重要な役割を果たすのみならず、火災の延焼を防止するなど、災害に強いまちづくりに貢献するところが大きいとの認識が示されたうえで、都市計画道路の整備を進める。
- ▶市の責務として、災害対策のあらゆる施策を通じて、市民の生命、身体及び財産を災害から保護し、その安全を確保する。

我が会派の見解

武蔵野公園との一体性や国分寺崖線の緑の確保などに十分配慮のうえ、防災性の向上や東小金井駅周辺地域の発展にも寄与する

小金井3・4・11号線の整備は必要です。

「災害から市民の生命や財産を保護」という市長の責務はどこへ!?

市長は就任後、令和5年2月に公表した施政方針（市政運営の基本的な方針）で「災害から市民の生命や財産を保護する」と述べています。一方、6月議会の質疑では「自助による市民の防災力向上・地域による共助が効果的」「避難路の確保や災害時や平時の救急活動における通行問題などについては研究課題と認識」「はげと野川等の自然環境を保全することが、本市にとって大切であり、今後も公約に沿って対応していくことが私の責務」との答弁に終始しました。

災害時の地域が抱える課題に対する解決策を持たないにも関わらず、防災上重要な道路となる小金井3・4・11号線の中止を都へ要望していくことは市長の責務では無いと考えます。

小金井都市計画道路3・4・11号線及び府中都市計画道路3・4・16号線

この道路は、避難場所へのアクセス向上や生活道路への通過交通の進入抑制による地域の安全性向上などに資する重要な道路です。



過去の経緯

小金井3・4・11号線は、元々「市道8号線」でしたが、東小金井駅周辺の道路整備は市の財政面でも課題があり、長年の市長、市議会、行政の度重なる陳情活動などの努力により、「都道」として施行する路線となった経緯があります。

北側から東京都が、南側から府中市がそれぞれ整備を進めており、全長約5kmのうち残る約830m区間を、今になって市長が止めて良いのでしょうか。今になって反対するのは筋が通らないばかりか、これまで都民の税金等により整備してきた、この道路の本来の整備効果が得られなくなります。

東小金井駅周辺地域の活性化

東八道路の南側で府中市が整備を進める府中3・4・16号線とつながることで、高齢者の移動を支える新たなバス路線の開設や、東小金井駅を拠点として、北側の小金井公園のみならず、南側の武蔵野公園や野川公園にも行きやすくなるなど、東小金井駅周辺のまちの賑わい創出が期待されます。五日市街道から甲州街道の間の交通利便性が高まることはもとより、例えば、味の素スタジアムでのイベントに安全に行くこともできるようになりますし、平行する路線の渋滞緩和や防災機能の強化などの整備効果が期待されるものです。

(6月議会での河野麻美議員の一般質問から)

新庁舎・(仮称)新福祉社会館建設予算の修正案が可決!

賛成**13** 反対**9**

庁舎等建設に関して、本来市が方向性を示すものと思われましたが、西岡前市長が大胆な見直しを含め、市議会に検討を依頼し、6か月に渡り協議をすすめていました。

市議会は、コロナ禍により厳しい財政状況の中でできる限りのコストダウンと将来の財政負担の見通しを明らかにすること等を市に求めてきましたが、**前市長の突然の辞職により結論が出せないまま、協議は中止せざるを得なかったものです。**

今般、現市長は現時点でのベストな案として中断した設計案をその

まま提案してきましたが、当然ながら市議会の多数の理解を得る事は出来ませんでした。庁舎等建設事業を前に進めるため、この度4会派(自由民主党・信頼の小金井、公明党、子どもの権利を守る会、共産党)で一致点を見出し、**総耐震化、地下駐車場の廃止、外壁仕様の変更や広場の再検討等10項目の検証を実施する予算を盛り込んだ修正案を提案し、賛成多数で可決されました。**

長年の懸念を解決し、事態の打開をはかる図り前に進めるための重要な審議となりました。

市議会議員

五十嵐京子(幹事長)



- ・厚生文教委員、
- ・庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員、
- ・湖南衛生組合議会議員(監査)、
- ・小金井市土地開発公社評議員会評議員

この5月に議会の新たな体制が決まり、私は厚生文教委員会所属になりました。前期に大きな課題であった、公立保育園5園のうち2園の廃園方針は、昨年12月議会で方向性を確定しました。

その後、民間保育園の建設時の公費不正受給の問題や、一民間保育園の保育士の一斉休暇取得など不祥事が続き、その対応についての議論が継続しています。一方で、今年4月に市は介護事業者連絡会が災害時協定を締結、災害時対応員を配置する事業所には宿舎借上げ支援を行う取組みを多摩26市で初めて実施、このような前向きな議論を進めたいと思います。

福祉の充実を図るために

昨年11月27日投開票の市議補欠選挙において、多大なるご支援をいただき当選いたしました。「人にやさしいまちを安定の市政を」つくるため、市民の皆さまからの相談事や要望を市政に届け、安全面の懸念があると指摘されていた丸山台集会所(前原町)入り口スロープの手すり設置を実現し、**コロナ禍で入構が制限されていた東京学芸大学キャンパス内へ市民が入構できるよう尽力しました。**今後も小金井3・4・11号線、新庁舎の建設、保育園の問題や基盤となる財政の諸課題等に取り組み、安定した市政運営のため活動してまいります。



市議会議員

河野麻美(副幹事長)

- ・総務企画委員
- ・行財政改革推進調査特別委員
- ・消防団運営審議会委員
- ・小金井市都市開発公社評議員会評議員
- ・広報協議会委員

安定した市政運営のため!

昨年市議会議員補欠選挙を経て、河野麻美が新メンバーとして加わり、市議会最大会派となった「自由民主党・信頼の小金井」でしたが、2月16日付で湯沢綾子市議が議員辞職、4月1日付で清水学市議が会派を離脱しました。今後は4人で一致団結し活動してまいりますので、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

たばこを吸わない人のために「喫煙所」の新設を!!!

たばこを吸う人吸わない人、双方の為に喫煙所は必要です。紙巻きたばこ、加熱式たばこ共に、受動喫煙の影響はほぼ同等だと言われております。小金井市の令和5年2月の20歳以上の人口は104951人、成人喫煙率は16.5%なので、17317人の方が喫煙している事になります。武蔵小金井駅北口の私設喫煙所では、JTの方々のご厚意により清掃作業が行われており、排出される吸い殻等を、事業系一般廃棄物として市で回収している所です。

吸わない人の為に、望まない受動喫煙をなくすという事を考え、公設喫煙所を新設すべきです。

市議会議員 遠藤ゆりこ



- ・監査委員・建設環境委員
- ・行財政改革推進調査特別委員
- ・国民健康保険運営協議会委員
- ・都市計画審議会委員
- ・広報協議会委員

厚生文教委員長として

市議会議員

吹春やすたか

- ・厚生文教委員(委員長)
- ・庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員
- ・浅川清流環境組合議会議員
- ・都市計画審議会委員
- ・小金井市土地開発公社評議員会評議員



みなさんこんにちは!今期は厚生文教委員会を委員長として担当します。

厚生文教委員会は小金井市の福祉と子育てを所管する委員会です。携わった2年間は“新型コロナウイルス感染症”についても調査項目に加わりましたが、「質疑・審議」の時間が長いから会議に質が高いとは言えないことは皆さんのご承知の通りです。市議会議員は市民のみなさんの代表です。いただいたご意見や声を、議会を通じ市政に反映させるのが役目です。効率良く会議を運営し適切な市政運営を目指す為に努力します。